

明治大帝ノ偉大断ニ倣ヒ斯ノ決心陸軍ノ武藝
 解除ニハ...
 仍ヲ詔書ヲ出ス己義支無ク又ラチヲ放送モ行フベシ
 更ニ必要トアラバ月百千段ヲ盡ス故程也
 (福堂号註ス)



大西中将治

海軍省公費(昭和二十年八月十七日十六時)海軍中將大西治郎は八月十六日午前三時官邸において自決せり

特攻隊に深謝

大西中将の遺書

故大西軍令部長長壽左の通り、特攻隊の英雄に自ず、特く感へり、深謝す、最後の勝利を信じつゝ肉體として散華せり、然れどもその信念は遂に達し得ざるに至れり、われ死をもつて爾部下の英雄との遺族に謝せんをす
 次に一報特報に告ぐ、喜が死にして難儀は利敵行爲なるを思

ひ、誓ひに願ひ奉り自決苦するの願ひもならは幸ひなり、願ひするとも日本人たるの特許を失ふ勿れ、爾は國の運命に、平持して起し、爾は國の運命を背し日本民族の驕傲と世界人類の恥の爲憂鬱を感せよ

大西中将略歴

兵曹 明治十五年七月海軍兵曹 大正二年少尉任官、航空教育、佐世保海軍航空隊飛行長、鳳翔飛行長、佐世保海軍航空隊司令、横須賀海軍航空隊司令、航空本部教育部長、航空隊司令官を歴し昭和十四年少尉に昇進、同十七年航空本部勤務部長、同十八年五月中将に進級、同年十二月重務部長に昇進、同部局長に就任、十九年十月比島方面海軍基地航空隊隊長として比島海軍基地、比島海軍基地に勤務した、二十年

海軍省での親

五月軍令部長となり現任に至る海軍省での親であった
 大西中将は古いパイロットで、山本元帥とともに海軍航空隊を創設した開拓者である
 前大蔵省ではロンドンに於て獨逸軍の空襲をも体験し大異曲感では海軍省方面並に航空機生産関係の要職にあつた、中将は典型的な軍人で比島隊以來海軍特攻隊の産みの親としてその徳と人格は特攻隊員の一人々々から敬慕されてゐた、和年の大西が激発されたのも自刃に至るまでの中将の氣持はさながら剛々とした獅子の如き心算であつたといはれる

なほ告別式は舞臺の官邸において十七日午後三時半より部内着参集の上脚式により執行された

昭和20年8月16日

昨夜左ノ入電アリ

EB電全作第114号 (E.B 152035)

1. 本日0000更ニ決一、二、三、五号作戦警報
登合セヨシ待機中ノ人ハ所定ノ整備ヲ促進シ
訓練ヲ励行スベシ

2. 昨日和平ニ関スル詔書演説セラルルニ停戦協定
成立セルヨリニ非ズヲ以テ各人ハ所定ノ作戦ヲ續行
敵ヲ登見セバ決然之ヲ攻撃スベシ

EB一司全ハ吾等ノ期待ニ逆カカリキ入
勇躍光ニ先行ス

0900 死世伴死 ~~2300 光着~~

世ノ激変ニエ均ニシテ外貌ニテ民心ニコソブル

平静ニ未ダニ烈ニナル關係ヲ止ムルハ頼モシキ限リナリ

徳山ヨリ先ハ今朝0600迄汽車便ナキヲ大津島

合道院、乗用車ニテ徳山発 2300 光着

昭和20年8月17日

諸要務ヲ打合セ、要求修理工ヲ全部諒解済

~~ニ~~整備日数約1日、予定ノ揚陸回天ハ

頭部換装、今2基、三

昭和20年8月19日

0600 1363 止入港

同天全基陸揚 EB-司令=ヨリ 呉=廻航

0900 出港 ~~鳴年者止ニル哉~~

夜「カワカ」ヲ出シテ 吾隊々 敵隊々 宴ヲ張ル
視島視察着想アリ

昭和20年8月20日

(才園カン)
視島視察 (エビス丸)

0830 発 1100 着

真宗寺 西寺方ニテ昼食 同代ニ色ニシテ説明ヲ
仰グ

人口約3000 出産率大 生活安定 主産菓漬菓
ヨキ ~~米~~ 少シ 米産少ク 大部分ヲ ~~他~~ 他ニテ補フ
甘藷ヲ多ク産シ 主食ヲ補フ 聚落ハ 一化所ニ密集ス
~~候~~

~~昭和20年8月21日~~

昭和20年8月21日

0400 頃 (コノ助)
④ニテ 平生行

ト會談 帰省先 小豆島 寒霞溪石門、予定
伯母 幸、隠裡地 ~~由~~

20.8.22

昭和 20年 8月 22日

④ = 大津島 之行 + 藤田克己ト会談
帰省先 山口県 豊浦郡 阿川村、予定
豊浦郡 神田村 = 本向ヶ一ル 熟懇、~~内~~ 船向屋アル由
帰途 野島視察、海軍、防空監視所 = 休憩
一處、島情ヲ聴ク 藤岡実治 (上曹) アル者アリ
島 = 定位、素志アリ 夜井上ヲ 通船 = 月見

昭和 20年 8月 23日

藤岡 = 「アルコール」一巻出 (ドラウ)
朝 ④ = 井上ヲ
午食後 大石ト 空積、臨濟禪寺 如空寺、老僧 =
面會 初歩ヲ聴ク
夜井上ヲ 通船 = 月見 雑談アリ 一考一雲ヲ認ム

昭和 20年 8月 24日

井上家 雑談 = 大石 = 相談 暫シ、去留方針ヲ
決定ス 万ヲ大石マカセトス ソノ至誠ニ感シ
マツ、至誠ヲ信ス
解員式アリ 可憐過ル 船便 =
交通 (立慮至達) 吉助 (旧中意) 帰郷 二人共大阪アリ

20.8.22

昭和 20年 8月 22日

④ = 大津島 之行 + 藤田克己ト会談
帰省先 山口県 豊浦郡 阿川町、予定
豊浦郡 神田村 = 平向ヶ一ル 熟懇、内所向屋アル由
帰途 野島視察、海軍、防空監視所 = 休憩
一處、島情ヲ聴ク 藤岡實治 (上曹) アル者アリ
島 = 定位、素志アリ 夜井上ヲ 通船 = 7月見

昭和 20年 8月 23日

藤岡 = 「ルコ一ル」 一巻 (179)
朝 ④ = 夜井上ヲ
午食後 大石ト 室積、臨濟禪寺 如空寺、无僧
面會 初歩ヲ聴ク
夜井上ヲ 通船 = 7月見 縁談アリ 一考、要ヲ認ム

昭和 20年 8月 24日

井上家 縁談 = 大石 = 相談 暫シ、生活方針ヲ
決定ス 万ヲ大石マカセトス ソノ 素誠 = 感シ
マツソ。至誠ヲ信ス
解員式アリ 万感通ル 船便 = 7
安通 (立憲至達) マシ助 (旧中意) 帰郷 二人共大阪アリ